

日本事情入門 A		講師 原田 桂	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の教養選択科目	科目ナンバリング	22200135

1. 授業のねらい・概要

誰でも自国とは違うマナーや習慣には戸惑うだろう。この授業では日本での留学生生活をスムーズに送れるように、身近な習慣やルールや文化の理解を深めることを目的とする。最も身近な衣食住の文化をはじめ、交通ルールや様々な制度について体験しながら学んでいく。さらに自国の文化や習慣と比較しながら、それを他者へ伝えられる日本語文章能力も身に付ける。

2. 授業の進め方

写真や映像など様々な媒体を使って日本の習慣や文化を紹介しつつ、実際に学内や学外において体験しながら理解を深める。毎時配布するプリントをノートに貼り、メモや書き込みを加えながら、一冊のオリジナルノートを作成する。そのノートは提出してもらい理解度を確認する。また、学生の興味関心のあるテーマや理解度に応じて、適宜内容を変えながら進めていく。

3. 授業計画

1. オリエンテーション (授業の概要, 進め方などの説明)	9. 衣食住① (食生活, 食文化)
2. 日本での日常表現・挨拶	10. 衣食住② (食にまつわるマナー)
3. 日本の教育・大学の制度	11. 衣食住③ (住宅様式, システム)
4. 留学生活と日本の法	12. 衣食住④ (買い物, ゴミ分別)
5. 年中行事・慣習	13. 衣食住④ (服装の TP0)
6. 日本の地理・四季	14. 衣食住⑤ (ファッション)
7. 日本の観光	15. まとめ
8・日本の交通事情とルール	

4. 準備学修 (予習・復習等) の具体的な内容及びそれに必要な時間

ノート提出をしてもらうので、配布したプリントや返却した提出物など整理をしながら予習や復習するのに 30 分以上は必要である。

5. 課題 (試験やレポート等) に対するフィードバックの方法

添削、講評した課題や提出物などはその都度返却し解説する。また、復習と定着に役立つよう無記名にして様々な解答パターンを紹介する。

6. 授業における学修の到達目標

- ・日本語で「話す」「読む」「書く」ことに慣れる。
- ・日本の文化や習慣への理解を深める。
- ・日本の文化と自国の文化を比較し、それを日本語で伝える能力を養う。

7. 成績評価の方法・基準

課題レポート (50%), 提出物 (30%), 授業での発言及び取り組み姿勢等 (20%)

8. テキスト・参考文献

毎時プリントを配布する。参考文献は適宜紹介する。

9. 受講上の留意事項

- ・辞書または電子辞書を持参すること。

- ・配布するプリント利用してノートを作成するので、必ず毎時間ノートは持参すること。